

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、野見湾奥海面に着色がみられたとの報告があり、海水の持込みがありました。持ち込まれた海水の検鏡結果をお知らせします。

検鏡の結果、貝毒原因種のアレキサンドリウム属が521cells/ml(表 1)確認されました。  
細胞の特徴からアレキサンドリウム属と判断しましたが、1細胞のものも多く、アレキサンドリウム カテナラ(警戒密度500cells/ml:大阪府)かアレキサンドリウム タマレンセ(警戒密度10cells/ml:大阪府)かは不明です。いずれの種であっても、警戒密度を超えており、貝毒が発生するおそれがあります。。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 1 検鏡結果

	アレキサンドリウム属
野見湾奥(着色地点)	521cells/ml

